

山形の母なる川

# 最上川

vol.10

平成19年8月3日  
発行  
山形県倫理法人会  
山形市やよい二丁目1-47  
TEL 023-647-5532  
FAX 023-646-7660

表紙題字／中村俊光氏

**特別号**

## CONTENTS

会長挨拶 .....	2
15周年に寄せて .....	3
1000社達成記念撮影 .....	7
第2回会員大会 .....	8
設立15周年記念式典 1000社達成祝賀会	
家庭倫理の会山形設立 .....	14
ブナ文化フォーラム .....	16
倫理と出会って .....	17
各単会の報告 .....	18

戸沢村 白糸の滝



社団法人 倫理研究所  
山形県倫理法人会

# 近 清剛

山形県倫理法人会  
会長



今年の句は、入梅出梅も区切りが明瞭でないまま過ぎ、不順な天候は様々な分野に影響を及ぼし、さらに『新潟県中越沖地震』が発生、新潟の皆さんには連続しての災害、無慈悲にも多くの命が奪われ、被災者の皆さんには前回の傷がいえないままのこの度と、アル・ゴア氏の『不都合な真実』が更に深まったのであろうか、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます次第です。

漸く暑い日を迎えましたが、やはり季節は折り目正しく移ろいで戴き、この時期うだる暑さの中に、風鈴一つ・蝉の鳴き声、子供達の元気な遊び声、この時期だからこそ体感できる夏の味わい、自然、文化、行事を感じたいものであります。夏だからこそ燃え上がり魂を揺さぶる『東北の祭』も、高校球児達の『甲子園』も終了すると、多くの人達に鮮やかな『ひと夏の思い出』を与え夏が行きます。

さて(社)倫理研究所、倫理法人会は間もなく新年度を迎えます。この一年、皆様には殊のほかご支援を戴き誠に有難うございました。特に今年度は全国五万社、山形県一〇〇〇社の年であり、皆さんの御陰で目標を完遂することが出来ましたこと、そして、新しい仲間『長井市倫理法人会』が生まれました。県役員を代表し衷心より敬意と感謝を申し上げます。そして七月七日、丸山理事長をお迎えし、実に立派な記念式典とパーティーを行って戴き、主幹の山形市倫理法人会皆様に厚く御礼申し上げます。

北海道、東北各県からお越しの皆様には、心から賞賛戴き、北海道・東北ブロック一〇〇〇社一番乗りと式典の格調高さ、県民性の高さに感銘をいただいた、当日会場でその様なお言葉を戴き、その後の御礼にその様が多くと述べられております。

又、丸山理事長には殊のほか有難いお褒めと慰労のお言葉を戴き、翌日は『家庭倫理の会山形』設立と二重に喜びが生まれ、とても感謝されておいで

した。又、三浦・川又正副方面長にはブロックの責任者として殊のほかお慶び戴きました。会員の皆様に敬意を持ってご報告申し上げます。誠に有難うございました。

間もなく、秋の風の匂い、千草・八千草の候、晩秋の夕暮れにはカシオペアが現れる時期を迎えてまいります。新しい中村丸の出航です。思わざる熊谷前会長の言葉で、恥を省みず会長を拜命し、会員皆様には誠に心配を御掛け致し、この三年間誠に未熟な者でありましたが、皆様の温かいご厚情とご支援に預かり誠に感謝に堪えません。特に県役員となられました、単会会長の皆様、常に振れることなく役員会並びに単会の運営に力を戴き、そして県役員の皆様、県事業と特に目標の一〇〇〇社には岡崎委員長の下に一致団結実践戴き、完遂をしていただき、奥山事務長には初の県合同事務所の管理と事業予算管理しつかり行っていた、事務長会議の開催と中村恵一朝礼委員長にも初の県朝礼委員会の開催、荒井研修委員長には合同富士研修を誘導戴き、鈴木女性委員長には法人会初の委員長に就任戴き手探りの中を頑張つて戴きました。小松広報委員長には誠に迷惑をおかけしながらも我慢して執行いただきました。そして柴田幹事長、名執行であなごいたから行えました。そしてお二人の中村両副会長と伊藤・川合両監事の皆様、両脇で危なげな会長を支えていただき誠に有難うございました。そして、多くの役員の皆様と県事務局職員の三女性に心から厚く感謝を申し上げます。

それでは、私達の心の中には真新しいカレンダーを掛け、二〇〇八実践手帳に替え、新しい希望と目標、実践項目を掲げ、倫理の精神を明朗・愛和・喜働で、かけがえのない家庭・会社・地域、の為尽して参りましょう。すべての会員の皆様のご事業のご繁栄をご祈念申し上げます。

合掌

15th anniversary

# 丸山 敏秋

社団法人倫理研究所  
理事長



山形県倫理法人会が設立十五周年を迎えられ、あわせて会員社数一〇〇〇社達成の快挙を見事に達成されました。まことにご同慶の至りであります。

本間利雄初代会長のもと、錦地山形に倫理法人会が設立されたのは、平成三年九月十八日のことです。爾来、朝田幸雄、三浦孝太郎、菅野茂正、熊谷眞一、近清剛歴代会長と、六代の会長のもと活動の歩を進めてこられました。六代十五年の堅実、確實、着実なる貴会の歩みは、今や東北一円に巖のごとき存在感を示されるに至っております。一〇〇〇社達成はその証にほかなりません。

周年を迎えることは、集団の原点に立ち返って、創立の精神を、その生命を清新ならしめる意義があります。創造的に生まれ変わる節目としての十五周年、この慶事に寄せて、長きに亘ってご尽力くださった数多くの皆様に深甚なる感謝を捧げ、先人の足跡に思いをはせつつ、新たな周年を刻むための決意を奉じたたく存じます。

さて、倫理法人会の母体である社団法人倫理研究所も、創立してからすでに六十年余が過ぎました。個人会員の組織から出発した倫理運動に、法人組織が加わったのが昭和五十五年。「企業に倫理を」「職場に心を」のスローガンの下、企業経営を通して道義日本の再建を志した私どもの活動も、まもなく三十年を迎えようとしています。

高度経済成長期、バブル経済とその崩壊

平成不況と、激変の経営環境の中「純粋倫理」という確かな生活法則を基盤にした経営を実践し、五万社に垂（なんなん）んとする組織へと成長してまいりました。しかしながら、倫理法人会の憲章に示された理念の実現には、いまだ道半ばにあるといわねばなりません。これまで以上に、倫理実践に磨きをかけ、学びの輪を周囲に及ぼすことが急務でありましょう。全ては、経営者の自己革新から始まります。

日本創生を目指す倫理法人会は、今後も個人会員組織と共に倫理運動の両輪となつてより一層の躍進を遂げていかねばなりません。来るべき時代の日本が求める「倫理」、地球を担う次代に引き継ぐべき「倫理」、そして我等が求める「倫理経営」の形をどこまでも追い求めていこうではありませんか。

この周年にあたり、貴会がこれまで以上に気高く、先人より受け継いだ矜持を内に秘めつつ発展されますことを、そしていつの日か全国の牽引役となって雄雄しく疾駆されますことを希望いたします。

このたびの設立十五周年、一〇〇〇社達成の慶事に、貴会が新たな飛躍の歴史を刻まれ、すべての会員企業がさらなる繁栄を遂げられることを願ってやみません。

# 三浦 貴史

社団法人倫理研究所法人局普及事業部  
北海道・東北方面長



山形県倫理法人会が設立十五周年を迎えられるにあたり、会員社数一〇〇〇社を見事に突破されました。誠におめでとうございます。

平成十七年より錦地担当となり、この記念の時を迎えられますことは方面長として何にも変えがたい喜びです。本間利雄初代会長以来、十五年の長きにわたりこの会を育んでいただきました諸先輩方、多くの会員の皆様に心より感謝を捧げたく存じます。

北海道東北方面の方面長を拝命し、初めての市区倫理法人会の設立を経験したのは山形県上山市の設立でありました。そして、初の一〇〇〇社達成の場面を経験させていただいたのも山形県でありました。いつも最大級の喜びを真つ先に、一番に届けてくださった山形県。その原動力はなんといつても、真摯な学びの態度、堅実な活動、そして東北の精神性を象徴するような熱い矜持でありましょう。一〇〇〇社達成は、その結晶です。

高度経済成長期、泡沫経済とその崩壊と激変の経営環境の中で私たちは活動の歩を進めてまいりました。変化の時代はこれからも続くはずですが、変化のない社会というものはありません。それに対応しうる条件の一つは、不易の精神の軸を持つこと。我等は、極北の星の如き不動の道標を持っています。純粹倫理という確かな生活法則がそれです。地球人が、近い将来直面するであろう事態に、私たちの倫理文化はどこ

まで貢献できるのか。このやりがいある課題を突きつけられているのが、現在であります。

何よりも強く希望いたしますことは、貴会がこれまで通り着実に倫理経営を実践し、その輪を広げていただきたくことと同時に、次代を担う若き経営者に山形のDNAを継承いただきたいということです。横の普及に縦の普及（教育）システムが組み合わさったとき、貴会は今まで以上に堅固な会となれるでありましょう。その十字の要はこれまで通り「倫理経営」に他なりません。我等の求める活動の終着地とは、その存在が地域や国の「文化」となることではなからうかと思えます。そしてその存在感とは、巨木のように聳え立つそれではなく、溶け込んでいくものでありましょう。倫理法人会という組織も、その存在感が数値でしめされ、それと感ぜられるうちは真の意味でその使命を達したことはないと考えます。いつの日か、存在を地域にと溶かしこみ、晴れ着の倫理でなく、普段着の倫理として、どなた様にも身につけていただける倫理になることを夢見ます。

山形県はそのモデル地域であって欲しい。一〇〇〇社の組織基盤はそのスタートに他なりません。

十五周年一〇〇〇社達成を寿ぎ、更なる隆盛発展を祈り上げます。山形万歳！

# 15th anniversary

## 齋藤 弘

山形県知事



山形県倫理法人会が設立十五周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

貴会におかれましては、「企業に倫理を、職場に心を」をスローガンに、純粋倫理の実践によって自己革新を図り、健全な繁栄を目指す経営者の集まりとして、心の経営を目指す人々が、そのネットワークを広げ、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的として、平成三年九月に設立されました。

以来、①よりよい生活習慣と豊かな人間性を備えたりーダーの養成、②家庭を愛し祖先を敬い、和やかな家庭を築くひとの育成、③明朗・愛和・喜働の実践を通じた躍動する職場づくりの推進、④愛と敬と感謝の経営を目指す会員の拡大、各種活動を通じた地域社会発展への寄与、⑤地球人たる自覚の深化、環境保全及び美化への貢献、を活動指針として日々取り組まれ、本県における企業経営者の資質向上や社員の能力向上、元気な会社づくりに大きく貢献して来られました。これもひとえに、本間名誉会長、近会長はじめ、関係者の皆様の熱意と御努力の賜と敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

さて、今日私達は、人口減少社会の到来をはじめ、経済低成長時代への移行等、これまで経験したことのない大きな転換点を迎えております。こうした時代環境の変化に対して、量的な成長や物質的な富の拡

大を重視した従来の考え方を転換し、心の充足や生きがいといった質的な豊かさを実現できる、活力溢れる地域づくりが必要であります。歴史的な大転換を前向きに捉え、百年の計をもって未来のやまがたの姿を描き、希望と誇りをもって新しいやまがたづくりの力強い第一歩を踏み出すときであります。

本県といたしましては、目指すべきやまがたの姿を、本県が持つ自然、伝統、文化などの「地域力」を活かしながら、県民一人ひとりが自己の能力を高め、発揮することによって、未来を開く大きな「基盤力」となる地域社会であり、多様な主体が新たな価値を創造し、活力ある社会の源泉となる力強い「経済力」を持つやまがたであると考えます。

こうしたことから、貴会の活動は、本県が目指す「新しいやまがた」づくりに大いに寄与するものであります。

貴会におかれましては、設立十五周年を契機として、今後とも、心の経営を通じた活力ある企業づくりをより一層推進されるとともに、ボランティア活動、環境保全活動等を通じて地域社会の発展に積極的に貢献され、百年後にも誇りの持てる山形の実現に向け、御尽力をお願い申し上げます。

最後に、貴会の御発展と会員の皆様方の御活躍を心から御祈念申し上げます、御挨拶といたします。

15th anniversary

# 市川 昭男

山形市長



山形県倫理法人会が設立十五周年という節目を迎えられ、また、会員一〇〇〇社達成という偉業を成し遂げられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

山形県倫理法人会におかれましては、平成三年の設立以来、一貫して「純粋倫理」という人生の座標軸に基づき、県内九つの倫理法人会の連携のもと、会員経営者の自己革新を図りながら、倫理社会の創生と地域経済の振興・発展に大きく貢献してこられました。これもひとえに、歴代の会長をはじめ、役員の皆様、そして会員の皆様方の積年のご努力の賜物であると、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、景気の拡大期間がいざなぎ景気を超えて戦後最長となり、中央の大企業に至っては、過去最高の利益を計上しているところが相次いでおりますが、中央と地方、大企業と中小企業などの様々な格差が社会問題となっているなど、地方においては、景気回復の実感が乏しいものとなっております、とりわけ中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

厳しい経済情勢にあっても、自分を見失うことなく、得意とする技にこつこつと磨きをかけている企業が、山形においても着実に業績を伸ばしておりますが、このようなところにも山形人の知恵や気質が息づいていると感じております。

本市は、このような知恵や伝統も含め、歴史的にも文化的にも魅力ある多くの資源に恵まれており、これらの山形ならではの

良さを「山形らしさ」として特徴づけ、これに暮らしやすさなどのより一層の魅力を付け加えて次の世代に引き継いでいくことで、持続的に発展することが可能なまちづくりを進めたいと考えております。

本市がこの四月よりスタートした第七次総合計画におきましても、目指す将来都市像を『みんなで創る「山形らしさ」が輝くまち』として掲げ、各般の施策を推進しておりますが、このまちづくりを進めるにあたっては、市民の皆さんと行政が共に考え、共に力を出し合う「共創」の精神で取り組んでいくことが重要であり、「市民の力」「地域の力」、そして「企業のパワー」をお借りしながら、これらと行政が連携し、適切に役割を分担し合いながら進めてまいりたいと考えております。

貴法人会が常に進めてこられた「自然や先人を敬い、一企業の利益のみの追求ではなく、地域の発展を念頭に置き、共に発展する」という倫理経営は、本市のまちづくりと軌道を一にするものであります。このような意味からも、貴法人会の皆様方との連携が不可欠でございますので、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この十五周年を契機に、会員相互の活発な情報交流、そしてさらなるご研鑽につとめられ、産業と地域の振興を担っていただきますようご期待申し上げますとともに、貴会のみならずのご発展と会員各位の一層のご活躍を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

山形県倫理法人会 1000社達成記念祝賀会





## 山形県倫理法人会 第2回会員大会・設立15周年記念式典

山形県倫理法人会1000社達成 記念講演  
教育のちから

企業を支える根となるもの  
社団法人倫理研究所 理事長 丸

企業に倫理を!

職場に心を!

## 第2回会員大会

# 山形県倫理法人会設立15周年

## 会員企業1000社達成祝賀会

山形県倫理法人会の設立十五周年と第二回会員大会、そして会員企業一〇〇〇社達成を祝う記念式典が七月七日(土)に山形市内オーヤマホテルにて開催されました。

第二回会員大会では、各委員会より経過報告があり、設立十五周年記念式典においては、斉藤弘典知事と市川山形市長より祝辞がありました。これまでの実績に敬意を表し、本県が持つ自然、伝統・文化などの地域力を生かしながら、百年後も誇れる山形にしていきたい旨の挨拶がありました。

また近会長は、新しい希望と目標、実践項目を掲げ、倫理の精神「明朗・愛和・喜働」で、家庭や企業、地域の為さらに頑張らましようと呼びかけました。

引き続き、倫理研究所の丸山敏秋理事長が「教育のちから」と題して特別講演がありました。

山形県倫理法人会は、平成三年九月に設立し、現在県内には九単会があり、会員企業数は一〇二二社になっております。



# 第2回 会員大会



近清剛 県会長挨拶



進行は佐々木吉嗣 山形市専任幹事



佐藤茂 酒田市長の開会の挨拶



桜井仁 寒河江市会長の閉会の挨拶



奥山正明 事務長の収支報告



柴田津與志 幹事長報告

## 各委員会経過報告



荒木捷夫 研修委員会



菅原利明 MS委員会



熊谷トシ子 女性委員会



小松健一 広報委員会



中村恵一 朝礼委員会



岡崎大造 普及拡大委員会

# 設立15周年記念式典

## 特別記念講演

# 教育のちから

— 企業を支える根となるもの —

社団法人倫理研究所理事長

# 丸山敏秋



進行は柴田津與志 幹事長



伊藤明彦 山形市会長の開会の挨拶



中村恒一 県副会長による経過報告(5年間)



三浦貴史 北海道・東北方面長の式辞



ご来賓の方々



# 山形県倫理法人会



齋藤弘 山形県知事より祝辞



市川昭男 山形市長より祝辞



近清剛 県会長謝辞



鈴木隆一山形市蔵王会長の閉会の挨拶



# 1000社達成祝賀会



衆議院議員遠藤利明文部科学副大臣より祝辞



小島勤 米沢市会長の開会の挨拶



進行は木村健彦 副幹事長



近藤峰雄 実行委員長の中締め



熊谷真一 相談役による乾杯



本間利雄 名誉会長のお礼の言葉



岡崎大造 拡大委員長による拡大経過報告



## 太恵 (たいしん)

「太恵」は、東北芸術工科大学教職員  
 によって構成され、和太鼓の演奏、作  
 曲及び和太鼓伝承の理論構築を目指し  
 ています。



東北芸術工科大学による太恵

# 家庭倫理の会山形設立記念式典



家庭倫理の会山形 会長 相馬紀子氏



授与式

東北の地に初めて

## 家庭倫理の会山形設立!!!

### 創生への想い



家庭倫理の会山形  
会長 相馬紀子

創生初年度の平成十七年十一月、私が「準家庭倫理の会山形」の会長に就任の時、「最上川」に出筆のお話しを頂いたのが、ついこの間のような気がいたします。

あれから早二年の月日が過ぎ、県法人会と共に創生の歩みを重ねてまいりました。

あの時私は創生は「創造的に生まれ変わる」ことだから会長として思い切った目標を決意しようとして心にスタートしました。それは、

- ① 会長の任期を二年と決め、その間に準を取って正家庭倫理の会を設立すること
- ② そのために、条件を充たすためのいくつかの支部をつくること
- ③ 必要な人材の育成をする

④ 渉外的な重要事項のサポートのために信頼出来る相談役を起用する、この四点でした。

会の役職者は全て信頼してお願いをいたしました処、その一人一人が良くそれぞれの役割を果たし切っており下さいました。そして又、法人会の皆様には何かと強力な応援をして頂いた事が私共の運動の大きな支えとなりました。

又、去る七月八日には、晴れて東北の地に初めての「家庭倫理の会山形設立記念式典並びに記念講演会」を理事長をお迎えして盛大に挙行する事が出来ました。あの最高の喜びを味わった時、会長としての想いが皆さんと心を一つにして成し遂げた感動と達成感で、これこそ会長冥利に尽きるものでした。

例えば「家庭倫理の会山形」は常に山形県倫理法人会の温かい御理解と御協力を頂いており、この融合が今日の発展となった事は間違ひありません。そして七月七日

の「県法人会一〇〇社達成」と私共の「家庭倫理の会設立」の喜びの節目に共に理事長をお迎えして挙行された祝賀が、タイアップされている事も山形県の倫理運動の大きな特徴でもあると、とても嬉しく感謝し御礼申し上げます。

申し上げるまでもなく、自分をよくする、家庭を、会社を、地域社会をよくする倫理運動を、そして何より純粋倫理の拠点が山形県全域に出来た事が私にとって創生に相応しい第一歩であったと感謝致しております。

創生以来二年間、会長の任に無心で取り組んでまいりましたが、来年度からは今まで相談役として御尽力いただいた五十嵐勇次氏に会長を引き継いでいただく事になりました。私は来年度より新しい制度に変わるため、専任講師という立場になります。

今後とも変わらぬご交誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

きらりと輝る人生 ひか 家庭倫理の会 山形設立記念講演会  
 ~ 自分が変わる・家庭が変わる ~



理事長

設立記念講演  
 きらりと輝る人生 ひか  
 ~ 自分が変わる・家庭が変わる ~



山口山形県教育長祝辞

設立記念パーティー



山形県倫理法人会 本間名誉会長の乾杯



みんなで記念写真



県外法人会からのお客様



佐藤氏、理事長、相馬会長、千葉氏

## ブナ文化フォーラムに参加して

続いて、青山実行委員による当日のスケジュール、諸連絡、観光協会より派遣の上野亘インストラクターの紹介があり、北蔵王のブナ原生林と動植物観察トレッキングが始まりました。午前十時、参加者全員蔵王中央ロープウェイで一気に鳥兜駅まで登り、鳥兜山（一三八七㊦）山頂より中央高原散策路にそって、片貝沼、目玉沼、ウツボ沼、三郎岳、五郎岳の分岐点を通り、ブナの原生林を体いっぱい満喫し、ドッコ沼で昼食となりました。途中で満開の山桜（種類

山形県の広大なブナの森は、母なる最上川の水源地であり、その美しい景観は、四季折々私たちの心を癒してくれます、この豊かな恵みに感謝し、新緑の蔵王で、山形県倫理法人会主催、山形市蔵王倫理法人会担当による「第十五回ブナ文化フォーラム」が五月二十六日（土）～二十七日（日）一泊二日で開催されました。一日目は、上山市倫理法人会会員の蔵王温泉ルーセントタカミヤさんに四十七名の参加者が集合し、中村県副会長挨拶、鈴木蔵王会長の歓迎の挨拶に

はたくさんあるそうですが、この周辺の白樺、ダケカンバは植樹されたもの、フキノトウのオス、メスの見分け方、狸々袴は、種以外葉っぱでも根づかせることなど、上野インストラクターには大変貴重な話を聞かせていただきました。昼食後無謀にも鳥兜駅まで中央ゲレンデを登った方、大変ご苦労様でした。北蔵王のブナの木は全体的に幹が細く、ブナ原生林を前にして晋道上山会長の「この木何の木？」の質問には参りました。タカミヤさん到着後、午後三時三十分より、山形の野生動物を考える会代表、獣医師、東英生先生の「野生動物からく人を見るく」の講演会があり、A太郎熊だけの組



織ではダメでC太郎熊、D太郎熊がいて初めて組織が成り立っているという話が印象的でした。また懇談会は、民話の語り部、大類孝子様の蠟燭の灯りの下、心安らかな民話の世界への誘い、そしてNHK東北民謡コンクールチャンピオン、石井弥生様の心に響き渡る最上川舟歌全国大会優勝曲等を聴きながら、倫友と語りあった心に残るひと時でした。

二日目の、蔵王連峰最高峰熊野岳一八四一㊦登頂は前日とうって変わった天候となり、バスで刈田岳一七五八㊦山頂レストハウスに到着したときは、ガスと大風（風速二十㊦前後）、小雨で身動きがでない状況でしたが、折原栄悦インストラクターの的確な引率で、馬の背、熊野岳山頂（蔵王山神社）、ワサ小屋跡、地藏山一七三六㊦と残雪の中、全員の無事に縦走することができました。蔵王地蔵尊にお参りをし蔵王ロープウェイ山頂線、山麓線で下山、タカミヤさんの露天風呂に浸ったときは心の底からホッとした思いでした。自然のやさしさ、厳しさを心から味わった二日間の「ブナ文化フォーラム」でした。最後に盛り沢山の行事を企画、準備いただきました実行委員、関係者皆様に感謝とお礼を申し上げます。





# 倫理と出会って

長井市倫理法人会

専任幹事

原

行雄

(有)はらコーポレーション代表取締役



私が、倫理法人会を知ったのは米沢市倫理法人会の相田晃輔専任幹事からの

一通のファックスが物語の始まりでした。長井市の倫理法人会の立ち上げに関わっているからと、長井市移動例会経営者の集い、長井市設立前モーニングセミナー、長井市プレモーニングセミナー等の案内をいただき参加をしました。

大声で「おはようございます」「最初と最後のベルの音」「夢かぎりなく斉唱」「十七か条斉唱」「万人幸福の栞輪読」とどこかの宗教法人の集まりのようでも今更、堅苦しい儀式に参加しなくてもというのが第一印象でした。入会の返事をのりくり先延ばししておりましたが、米沢市倫理法人会の小島勤会長、山形県倫理法人会の熊谷眞一相談役他、県内の倫理法人会の役員の方々が次々と「普及は宝だ」という事で、断られても、断られてもめげずに、仕事を投げ打って会員拡大の活動をしている

姿を見て、これは何なんだ？と思いい地元にいる者として案内をせざるを得ない状況になりました。又、一緒に会員拡大の活動に参加をして、一万円の入会金と入会申し込み書をいただいた時のあの感激、達成感、何ともいえない気持ちになったものです。今までの人生で初体験でした。何回かモーニングセミナーにも参加して、毎週水曜日の朝が待ち遠しく感じている自分がありました。全ては、自分の問題なのだと気づき、自然の営みの中の自分の存在感を感じられるようになりました。毎日の生活の中に純粹倫理を取り入れ、心のあり方、家庭関係、人間関係等実践を通して人生をより豊かに幸せに楽しんでいきたいと思っています。今後は、仕事に、家庭に倫理で体験したことを実践し、地域の発展と倫理の普及拡大に会員の皆様と一緒に精進してまいりたいと思っております。倫理と出会って感謝、感激の毎日です。有り難うございました。



## 倫理法人会憲章

倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粹倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的とした団体である。これがため以下「活動指針」と「会員心得」を掲げる。

### 【倫理法人会活動指針】

- 一、倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたリーダーを養成する。
- 二、深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、なごやかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
- 三、「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
- 四、愛と敬と感謝の経営をめざす会員の輪を拡げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
- 五、自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

### 【倫理法人会会員心得】

- 一、朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
- 二、約束を守り、信頼の輪をひろげます。
- 三、人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。



山形県倫理法人会ではホームページを開設しております。是非一度ご覧下さい。

山形県倫理法人会ホームページ

<http://www.yamagata-rinri.net>  
Eメール info@yamagata-rinri.net



## 山形市 倫理法人会

今月の山形市倫理法人会の最大目標は、七月七日に行われる会員大会、十五周年記念式典、一〇〇〇社達成記念パーティーを滞り無く執り行う事です。各会の進行、段取り、会員の参加数、予算の配分等に気を配り、各担当に適任者を配置しました。会員の参加動員には会長、相談役、各準備には専任幹事、会計、会場係りには副会長、ホテルの担当者、総まとめ役に近藤準備委員長と万全の守備陣を貼り付けております。このイベントの最大課題として、一〇〇〇社会員数の達成という大きな目標があります。山形市倫理法人会がこの目標の足を引っ張るわけにはいきません。寧ろ他法人会の模範となるべく、一六〇社達成に向けて、荒井拡大委員長を中心に、役員一丸となって七月七日には目標を達成する計画を練っております。山形市倫理法人会の活動計画は、全て七月七日の会員大会、十五周年記念式典、一〇〇〇社達成記念パーティーの成功に向けて動いています。

米沢市倫理法人会は、山形市倫理法人会の先輩たちの熱い思いに触発され、山形県で二番目の単会として一九九九年に産声をあげました。あれから八年が過ぎ、現在は活動が少々低迷気味であることは否めません。長井市倫理法人会設立の時期に、一時的ですがモーニングセミナーの会場が変則的であったために、米沢会場の参加人数の減少を招いてしまったことは、毎週のモーニングセミナー出席の習慣が、残念ながらいまひとつ定着していなかった証拠だと感じました。私たちはいま、倫理法人会の学びの原点に立ち返り、モーニングセミナーの出席率の向上を目指し、内部の充実をはかっているところです。

また、米沢の一〇五社達成に向けて、小島勲会長、中村恵一拡大委員長を中心とし普及活動をおこなっております。米沢市倫理法人会は、今後さらに多くの倫友との出会いを求めて活動を展開してまいります。倫友のみなさまのお力添えよろしくお願い申し上げます。



## 米沢市 倫理法人会



## 天童市 倫理法人会

来る七月二十九日の参議院議員選挙に地元天童から立候補者が出るため、天童市内の各企業は日毎に選挙の気運が高まっております。そんな中、六月度も倫理活動は粛々と実行され拡大に向けても東奔西走しております。

六月はMS函館市倫理法人会副会長「私は聖人君子になれない」そして幹部研修とMSは川又久萬北海道・東北方面副方面長「人生は波動」それに中村恒一県副会長「であいい」、残す最後は天童恒例のビデオ研修という事で締めくくります。

いつものことですが朝食参加者も平均七十%以上を維持しております。六月はMSに長井市法人会の方々をはじめ他単会の方々から多く参加していただきました。ありがとうございました。



## 寒河江市 倫理法人会

七月六日のMSの後の当会の役員会は、翌日の一大イベントに向け、正に白熱した議論となりました。目標達成まであと三社。「ここで挫けたら旧の木阿弥だ」拡大委員長の半ば怒号の中で、未会員の洗い出し、或いは普及中の最後の詰めを議論する拡大会議の場となりました。

しかし長い時間をかける余裕がなく、すぐさま散らばり行動開始となりました。

これまでの普及活動の効果や、心の連繋のようなものがあり、夕方のタイムリミット寸前で見事一六〇社入会の報を受け、一人で感激し安堵した次第であります。先の倫理経営講演会においても会友の広報活動の元七八三名の動員の中で、大盛會に終了する事が出来ました。県や単会の役員をはじめ、ご参加いただいた会員の皆様には心より感謝を申し上げます。

毎週のMSにつきましては、若干出席者数の減少が見られ気になるところであります。今後巻き返しを図るべく啓発活動に心して役員朝礼共々増員を目指します。よろしくご協力をお願いします。

最後に、七月七日の一大イベントが、厳粛な中で和やかに、楽しく終了されました事、主幹の山形市倫理法人会をはじめ関係各位に敬意と感謝を申し上げます。



## 山形市蔵王 倫理法人会

設立三周年を迎えた山形市蔵王倫理法人会では本年度も様々な活動を実施、充実した一年となりました。特に、名シェフの腕光る「いも煮会」、大ズツコケありの「家族クリスマス会」、蔵王で行われた本年度当会主管の「ブナ文化フォーラム」、そして朝礼実演好評の「倫理講演会」と何れも盛會に終わりました。これも鈴木隆一会長のもと、積極的に取り組んだ会員皆様方のご協力の賜物と存じます。心から感謝申し上げます。

また当会では倫理の基本であるモーニングセミナーの更なる活性化を目指しております。朝から多くの倫友と時間を共有できる喜びと学びの場です。一人でも多くの方に実践して頂き、倫理の素晴らしい輪を広げていきたいものです。目標、「内容日本一のモーニングセミナー！」（鈴木会長談）今後も皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

モーニングセミナー四回「不安・不満・解消への挑戦」「経営は真剣勝負」「人間とはくいのちの尊さ」「倫理の力」を講演テーマに開催及び女性委員会主催で第三回地域清掃ボランティア活動（参加者二十六名）を実施しました（実に爽やかな朝に大満足）。

六月二十九日（金）に開催されました倫理経営講演会においては、講演会一三八名、懇親会一〇七名の参加があり、緊張感の漂う講演と終始和やかな雰囲気にも包まれた懇親会になりました。講演内容につきましては、大倉産業（株）社長

横倉精一氏「住まいのリフォーム地域No.1を目指すサラリーマン失格者が選んだ脱サラ人生」をテーマに、現在に至るまでの体験談、中国・四国方面方面長 森本宏氏「日本創生の心「風を起す」」をテーマに、個のあり方についてなどの大変貴重なお話を聞かせていただきました。

まるつきり分野の異なる今回の倫理経営講演会（二名）は、参加者にとつて色々と考えさせられた事が多かったのではないのでしょうか。



## 酒田市 倫理法人会



## 鶴岡市 倫理法人会

鶴岡市倫理法人会会員数、五月末現在八十七社、目標一〇五社達成に向けて活動しています。設立当初リストに上がりながらも入会頂けなかった方々にも再度入会のお勧めを行っているところです。

六月は四回のモーニングセミナーを開催。先日は、会員企業外の社長さんの講話で、経営とは離れ健康についてのお話でしたが、コーヒーによる腸内洗浄を自身で毎日行っている話には驚きました。また、「良質の情報、人生を豊かに変えて行く」新しい体験と、新しい事にチャレンジする事の大切さで締めくくられました。

六月十七日は家庭倫理の会主催の一斉清掃活動に参加。早朝六時より市内中心部にある荘内神社清掃を行い、正に喜働精神を発揮する場となりました。

当時、山形市で二番目の法人会だった山形市蔵王倫理法人会から分法され、上山市倫理法人会は昨年(平成十八年五月二十六日)に設立してから、お蔭様でようやく一年が経ちました。ようやく上山市にも「倫理の風」が吹くことになったわけです。

当初、山形市蔵王倫理法人会の初代会長であった晋道純一氏を会長に、山形市蔵王と山形市倫理法人会からの会員(上山市内の企業のみ)数名で設立に臨みました。もちろん山形県倫理法人会からも強力な応援をいただいたことも忘れてはなりません。晋道会長は以前、山形市蔵王をはじめ、鶴岡市、酒田市と三つの法人会の立ち上げに関わった「粘りの人」です。ご存知のようにこの三つの会は現在見事盛況を博しておられます。

さて、上山の場合はどうでしょう。開設時の企業訪問については、私も微力ながらお供いたしました。設立式典当日午前中まで企業訪問を続け、やつと一〇二社にたどりつき、式典に臨むことができたことを思い出します。スタート時の会員は九割以上が始めての方ばかり。何をすることも覚束ない会でした。ところが一年が過ぎ、毎週金曜日の経営者モーニングセミナーは、毎回三十数名の参加が定着してきつつあります。四月の倫理経営講演会も盛大に開催することができました。

少しずつ、倫理を学ぼうとする気運が高まってきている証拠だと感じます。五月中旬の我がモーニングセミナーでは、いつもの会場を座禅堂に移して開催されました。なんと普段より多くの参加者がありました。お堂ではご住職(会員)の指導で、雨々と作法が進んでゆく中で、これまでの法人会活動を振り返り、多くの方々の力と心をしみじみと感じた次第です。



## 上山市 倫理法人会



## 長井市 倫理法人会

ありがとうございます。このたび、五月九日、山形県内九番目の長井市倫理法人会を設立することができました。この間、今日に至るまでには多くの皆様から献身的なご協力をいただきました。社団法人倫理研究所の方々をはじめ、山形県倫理法人会役員の皆様には、温かいご高配とご支援をいただき、そして設立実行ご担当の米沢市倫理法人会の皆様には細部にわたり懇切にいなご指導をいただきましたこと、合わせて深く感謝申し上げます。心から御礼申し上げます。県役員熊谷相談役、そして米沢市倫理法人会小島会長におかれましては、ご自身の会社とご家庭をなげうって、ご尽力を賜りましたこと、言い知れぬ感銘を受けまして、「これこそ倫理だ」と、無言の「後姿」に感動を覚えました。

いま、わが国に求められることは、世の中の価値観、人々の価値観とは何であるのか、みんなで見直して考えなくてはならないことではないでしょうか。社団法人倫理研究所創設者であられる丸山敏雄先生の提唱された純粹倫理を学ぶことにより、家庭も企業もそして地域社会も、精神文化にすぐれた社会共同体の実現を願いたいものです。